

2004年 5月 31日

第 14 号

ブラジル福岡県人会

Associação Fukuoka do Brasil

会 報

玄 海

Boletim Informativo

ブラジル国 サンパウロ市

GENKAI

Rua Saturno, 238- Aclimação

アクリマゾン区 サツルノ街 238 番

São Paulo-SP

Brasil

郵便 番号 01531-030

CEP 01531-030

Tel. (011) 3208-3123

Fax (011) 3341-2603

E-MAIL: fukuoka.kenjinkai@nethall.com.br

01 - ブラジル福岡県人会 新会長就任のご挨拶

皆様に一言ご挨拶申し上げます。

この度ブラジル福岡県人会会長に選出され、重職を引き受ける羽目になりました。未熟な私にとって、責任の重い役目を預かり、会の運営と発展に努めなければならない重大な責任を感じている次第ですが、浅学の身に鞭うち、がんばる所存であります。

つきましては、諸先輩ならびに会員の皆様のご指導・ご支援を、切にお願いする次第であります。

二月の総会でも申し上げましたが、会の運営にあたり、

- 1- 支部又は会員の皆様との親睦を計り、和気あいあいに運営してゆく、
- 2- 母県との交流を益々深めて行く
- 3- ガラス張りの運営を行う

この三つの指針を念頭におき実行し、会員又は支部の意見を反映させながら、先輩諸士が作られた、この我々の県人会の益々の親睦と発展に全力を尽くすつもりであります。つきましては、皆々様のご協力を切にお願いする次第であります。

現在、日系社会では2008年に向かい、日本移民百周年を祝う用意を着々と進めています。当県人も日系社会の一員として、皆様方と協力し合い、参加し、世紀の祭典を立派な、そして有意義な祭典と成るよう願う者であります。

終わりに、母県並びにブラジル福岡県人会の益々のご発展を切望いたしますと共に、会員皆様のご健康とご多幸を祈念いたしまして簡単ではありますが、私の就任の挨拶と致します。

2004年3月

ブラジル福岡県人会

会長 松尾 治

02 - 第74回ブラジル福岡県人会定時総会

去る2月1日、10時より、なにわ会館のサロンに於いて、出席者約250名の下に行われた。

最初に開拓先没者の霊に1分間の黙祷をささげた後に、定時総会の進行に野田マリオ議長がえらばれ、あつき質疑に終始した。

2003年度事業報告、会計報告、2004年度事業計画などと盛りたくさんの審議を終えて次期理事役員

の投票に移り、松尾 治会長を筆頭に、次の方々が絶対多数を持って役員に選出された。

会長 松尾 治

副会長 第一 古賀敏之、第二 平山イナシオ秀夫、第三 南 アゴスチニョ 俊男、第四 斉藤利治、
第五 田中 公

会計 第一 丸林茂樹、第二 中村 エバンドロ 亮旨

書記 第一 下田靖昭、第二 浅原 セーリア 由美子

理事 古賀正倫、鶴我博文、国武英治、福永ミルトン、山川正人、石崎干城、大野孔三、吉田 レーダ
美智子、

監査役 江藤征支、清水政典、諫山 誠

新役員の任命が野田議長から総会参加者一同に公表されると、松尾新会長が任期を終えた渡部一誠前
会長に歩み寄り、固い握手と二年間の職務をねぎらいその間の功績を称えた。

こうして新たなる決意のもとに、一致団結して県人会が出発した。

03 - 新会長就任挨拶の為、母県訪問

去る4月8日松尾会長と斉藤副会長は、就任挨拶の為、母県訪問に出発され、4月27日に無事帰国され
ました。

今回の主な目的は、県知事並びに県議会議長への表敬訪問と、国際交流センターの担当者達との事務
の打ち合わせとなっております。

04 - 青年部に活気もどる

昨年なかば頃から、段々と活気が戻ってきた青年部の行事は、今年も好調に進んでいます。ただ会議を
するだけでは、メンバーが、なかなか集まらないという問題もありまして、青年部では、メンバーの誰かが何
か得意な料理がある場合には、その料理をテーマに昼食会、あるいは夕食会を開いて、それと一緒に楽し
い会議を開こうという試みを始めました。先日、三月二十一日には、留学生 OB の鈴木セイモール君の得
意料理、親子丼を作ることになり、普通でしたら多くても十名ぐらしか集まらないはずの会議も三十名集
まるという大成功となりました。そのうちの大多数のメンバーが早めに集まって、お手伝いをしてくれたので、
県人会館の台所は、活気溢れる集いの場となりました。

05 - 今年度福岡県主催 “とびうめ国文祭”

ブラジル福岡県人会事務局では、「とびうめ国文祭実行委員会」から、その概要について、連絡を頂きました。

時期 平成16年10月30日(土) から 11月14日(日)迄

応募 俳句、短歌、川柳、連歌、など

問い合わせ先 第19回 国民文化祭実行委員会事務局

Tel 092-473-8357 Fax 092-451-003

E-mail ; tobiume@kokubunsai.pref.fukuoka.jp

06 - 留学生欄

A 帰国

1年間の有意義な留学を終え、無事に去る3月30日と4月1日に、一同帰国しました。

原 ナンシー (マリンガー パラナー州)

中嶋 クリスチーナ テルコ (サンパウロ州)

斉藤 ジュリアナ (サンパウロ州)

B 出発

新留学生、下記4名が、1年間の留学の為、去る4月1日夜の JAL 便にて元気に出発しました。

九州大学 吉田 クリスチアーネ ユリ (マリンガー、パラナー州)

〃 〃 小島 幹児 リンコン (クリチーバ、パラナー州)

〃 〃 平田 エリザ 正子 (サンパウロ州)

九州産業大学 松田 レナット (サンパウロ州)

07 - 支部便り

県人会パウルー支部では、三月二十一日 本年より今年度一回目の家族親睦会が、ブラジル福岡県人会新会長 松尾 治氏、副会長 古賀敏之氏、斉藤利治氏、会計 丸林茂樹氏、四氏を特別招待、会員家族、近市招待家族と前年にない百三十名の人達が集まり、パウリスタ神社会館で盛大に行われました。

当会場は、パウルー市よりマリリア行き三十kmの地点、当日午前八時頃には、会場整備整頓の為会員の人達も早々集まって下され、十一時頃には会員全員集合、サンパウロの客 各氏、近市の招待家族を迎える準備も出来ていた。

十二時、梶原副支部長の司会で時間励行、田中支部長より長期間支部長の任務に就かれていた 南 慎氏(昨年死亡)と日本人会先亡者への黙祷があり、支部長の挨拶、新役員の紹介に引きつずき福岡県人会新会長 松尾 治氏の挨拶、各副会長、会計の自己紹介、パウルー有志の挨拶、前支部会計長の柳瀬時雄氏の2003年度会計報告と続きました。

会長 松尾氏の挨拶の中、県人会基本方針 母県関係、地方支部との連絡を深め、地方会員の意見を聞く事を持ち、透明なガラス張りの県人会運営をしたいと強調される中、会場全員総立ちし拍手と祝声が飛び、支部長自ら手を取りガッチリ握手する一瞬もあり、親睦会を盛り上げて頂いた、又四氏はパウルー近辺出身との事で昔の友も多く雑談に花が咲いていた。

昼食は支部会員の持ち寄りとなり、今までにないご馳走、支部ではシュラスコ、飲み物を用意、時を待ちきれずシュラスコの匂いに酔った紅顔の会員も居た。昼食後、カラオケ 二十八名の県人歌手が熱唱、飛び入り歌手も出、全歌手に記念品を進呈、楽しい福引きでは百三十名全員大小の賞品があり、中でも四歳位の幼年が日本米5kgの賞品が当たり、持ちきれなくその場に据わりこみ、楽しみが絶えない親睦会となりました。最後にはパウルー県人会にはかかせない炭坑節、全員の“心”、“和”、“輪”を作り時間の過ぎるのも忘れて踊り午後五時過ぎ紅顔、笑顔で次回の十一月、忘年親睦会を約束して和気あいあいと帰途についた。

福岡県人会の一層の発展のご成果を挙げますようお祈り申し上げます。

田中 東

福岡県人会パウルー支部 役員

支部長	田中 東	第一副会長	柳瀬時雄
第二副会長	梶原四男美	書記長	大川弘毅 <small>ひろたか</small>
会計	小坪 毅 <small>たかし</small>	副会計	幕田哲夫

別紙をご覧ください。

09 - 寄付金納入者名(敬称略)

定時総会当日受け取り分

大塚 清	R \$ 50, 00、	平塚重利	R \$ 25, 00、
カンピーナス支部	R \$ 100, 00、	田中岩雄	R \$ 50, 00、
井手 司	R \$ 50, 00、	パウルー支部	R \$ 50, 00、
サント アンドレ支部	R \$ 300, 00、	カンポリンポピラソニア支部	R \$ 60, 00、
丸林茂樹	R \$ 50, 00、	上 新	R \$ 30, 00、
古賀敏之	R \$ 50, 00、	小西香月	R \$ 30, 00、
アクリマソン支部	R \$ 50, 00、	斉藤利治	R \$ 50, 00、
ピラ マリアナ支部	R \$ 100, 00、	石崎干城	R \$ 100, 00、
笠 喜代治	R \$ 50, 00、	加月茂幸	R \$ 50, 00、
青木敏枝	R \$ 30, 00、	池田 武	R \$ 50, 00、
中村 勲	R \$ 50, 00、	江口勇二	R \$ 100, 00、
南アゴスチニョ俊男	R \$ 50, 00、	吉田レーダ美智子	R \$ 50, 00、
竹内 勲	R \$ 30, 00、	グアルリョス支部	R \$ 50, 00、
平田ミヨコ	R \$ 50, 00、	前田長美	R \$ 50, 00、
岡谷 忠	R \$ 100, 00、	篠崎永治	R \$ 50, 00、
モジタスクルゼス支部	R \$ 100, 00、	松尾 治	R \$ 50, 00、
田中 公	R \$ 50, 00、	石内保忠	R \$ 50, 00、
谷山千代記	R \$ 50, 00、	松尾幸子	R \$ 30, 00、
植松悦子	R \$ 50, 00、	松本善方	R \$ 50, 00、
オザスコ支部	R \$ 50, 00、	清水政典	R \$ 40, 00、
立石守澄	R \$ 20, 00、		

総寄付金額 R \$ 2, 435, 00

会の運営資金として、使わせて頂きます。誠に有り難うございました。

10 - 2004年度会費の件

今年度の会費は5月8日迄の支払い者は R \$ 20, 00 でしたが、5月10日以降は R \$ 30, 00になりましたので、ご了承下さい。又 80才以上の方は、会費が免除になりましたが、ご子息、ご息女を勧誘されて引続き会員をお願いいたします。

高齢者80才以上が会費免除のため、2004年度の予算に大きく支障をきたすものと思われまますので、会員の皆様には新会員のご勧誘にご協力くださいますように、お願い申し上げます。

ふるさとの四季

脇田 勅(ときお)

咲くことと、散り行くことと、日本は四季折々に見せる自然の移り変わりがとても美しい国である。

春、梅が散り、桜が咲く頃、たんぽには蛙が鳴き蝶が舞う。レンゲ草が春になるとピンク、白のじゅうたんを敷きつめたように咲き、見渡すかぎり広がる風景は壮観だった。

たんぽぽ——最も代表的な春の野の花である。たんぽぽの～ワタ～は風に乗って落下傘のように浮遊し増殖する。

春の花でたんぽぽほどありふれて、よく親しまれているものはあるまい。丘陵に、川辺に、野原に白色と黄色の花が咲き乱れる。

五月に入ると新緑が日ごとに鮮やかさを増す。モンシロチョウが菜の花の黄色のあちこちを飛ぶようになる。ボタン、シャクナゲ、フジの花と大型連休を待ちわびたように咲き誇る初夏の花々。

幼いころの夏、暑い日差しに輝いたんぽの上でトンボが飛び交い、夕暮れの小川からハヤが身を躍らせていた。

そんな夏が消えた……。

経済の高度成長が始まり、たくさんの農薬が使われるようになったからだ。

秋、一面黄ばんだ稲穂の中からイナゴやバッタが羽音をたてて飛び交っていた。キイキイというモズの高鳴きが聞かれ始めると秋も本番を迎える。

～ふるさと～という言葉の味は。ふるさとをはなれてみないとわからない……。

また、離れて永くなればなるほど、その美しい山河が鮮やかによみがえって心のオアシスとなる。

室生犀星の詩に

ふるさは遠きにありて思うもの——という一節があったが、まさにそのように、遠く隔たれば隔たるほど懐かしさがつのってくる。それがふるさとのふるさとたるゆえんである。

春夏秋冬、四季折々に見たふるさとの風景は、今も私の眼底に焼き付いて離れることはない。

ご投稿大変ありがとうございました。私どもにもあの美しいふるさどが、目をとじれば、ありありと映えて消えることはありません。

ご参考のために室生犀星の小景異情の詩を掲載します。

小景異情

ふるさは遠きにありて思うもの
そして悲しくうたふもの
よしや
うらぶれて異土の乞食となるとても
帰るところにあるまじや

ひとり都のゆふぐれに
ふるさとおもひ涙ぐむ
そのころもて
遠きみやこにかへらばや
遠きみやこにかへらばや

支 部 名	人 数	全 員 名 (敬称略)
本 部 (Se)	20名	福永ミルトン 南アゴスチニョ 三原純一 飯塚清繁 井上康文 脇田 勅 丸林茂樹 平塚重利 平田義人 中村エバンドロ 松尾 治 浅原セリア 稲田晴男 作本登美子 矢野純一 本村タカシ 檀ユキオ 中村 勲 平山イナシオ 吉田ユリ
アクリマソン(Aculima,)	1名	下田靖昭
婦 人 部	8名	前田テルコ 立野スミコ 伊福サダコ 上村フミコ 山田 マサコ 千葉アヤコ 福井静代 植松悦子
シダデ アデマール	2名	前田孝利 前田長美
ビラ カロン(V. Carron)	3名	日野寛幸 日野幸治 古賀郁夫
カンポ、リンポ ビラ、ソー ニア (Campo Limp o, Vila Sonia)	13名	満生芳太郎 浦山ミアン 中島 貢 永島ラウロ 永島 イリオ 永島マサエ 永瀬マサヨシ 江崎 強 田中チヨ カ 藤山梨花 清原和幸 園木義人 税田スナオ
ロレナ (Lorena)	2名	井上時春 宮崎 栄
サント アマロ (Santo Amaro)	13名	竹内 勲 永野勘七 伊藤ユタカ 宮崎ユキコ 貴島隆 谷山千代記 井上恵子 森部シユビオ 内田ミドリ 中 野 稔 高田孝治 平田高美 内田シゲオ
イタイン ビビ (Itaim Bibi)	7名	江口勇二 中野良徳 吉田レーダ坪根義幸 本田刈 郎 寺岡 保 城島卓士
リンス (Lins)	1名	日野力男
サウデ (Saude)	4名	斉藤利治 身吉ジュリヨ 馬場ケイゾ 馬場春美
ソロカバ (銀行振込) (Sorocaba)	6名	轟 ノブエ 平島千代香 金丸正明 平島文江 古賀 満 田中志津男 青野キヨコ 田中五郎
サンターナ(Santana)	4名	石井イサム 倉富千昭 森田静恵 江連喜久江
ビラ レー (Vila Re)	1名	平田ミヨコ
アルバレス マッシュアド (Alvares Machado)	12名	宮崎光昭 黒岩光男 橋本英治 平田 孝 平田ガブ リエル 青木吉信 黒岩誠基 平田貞夫 櫛川輝夫 青木和夫 東原 武 今村果男
ツパン (Tupa)	3名	泉 清満 倉斗義人 竹下オリンダ
ピエダーデ(銀行振込) (Piedade)	8名	永本 卓 井上エリオ国男 淵上秀夫 相園 強 末永 清 吉村力男 福本利光 栗田律子
マリリア (Marilia)	2名	松延種男 古賀達二
インダイアツューバ (Indaiatuba)	8名	中園公明 原 房子 瓜生有年 西口 隆 矢野博人 白水隆祐 国武誠之助 国武英治
ビラ マリアナ (Vila Mariana)	21名	久保山卯太郎 小坪 満 古賀ジュリアナ 吉田 博 久保田茂行 松隈マキエ 上野ヒデオ 上野 勲 井 上勝喜 行徳年雄 今村スマエ 田中アントニオ シラ ヒゲ エミコ 岩崎 明 久保田ルイス 池田光秋 河原 マリオ 永島正哉 田籠 清 石内ヤスタケ 井上ヤヨイ
ビラ マリアナ (Vila Mariana)	4 名 (新)	井上ケンジ 石田ノリコリジーア 永沢ヒデコ 井上ヒロ アキ

支 部 名	人 数	会 員 名 (敬称略)
スザノ (Suzano)	55名	秋永和子 石井芳文 井上竜イバン 井上幸子 江口拓男 宇和田清定 大迫主計 大坪聖治 押方ジョウジ 鬼丸正彦 尾道匡治 梶本茂雄 行徳直幸 行徳譲次 行徳光一 黒岩 勝 古賀しげお 古賀正雄 古賀種実 古賀くにえ 古賀吉人 権藤 正 沢田純子 住吉マサエ 高島主基 高松芳夫 高山しげる 高山みのる 田辺治喜 飛永 敏 飛永幸治 中島静雄 中島 洸 中村常糖 中村洋一 中村 勉 中村としかず 名島百々子 原田トシコ 平島 武 淵上成俊 松井年彦 丸山孝義 満生昭吾 峯 均 三船美紗代 森部金千野 森部とき子 山川正人 山崎乙次 山下忠男 山下満江 行弘勇マリオ 行弘 登 吉田 保
ビラ マチウデ (Vila Matilde)	8名	鳥越藤雄 川上哲夫 田箆輝夫 高山眞虎 田畑八重子 本田八郎 田箆忠志 村上文子
カンピーナス(銀行振込) (Campinas)	8名	井手伯夫 高野勇一 田島正一 吉村春江 鈴木妙増永 勉 恒富伯道 岡谷義勝
パウルー (銀行振込) (Bauru)	20名	田中 東 本田証三 佐々木エドアルド 平塚忠良 平田ナポレオン 木稲重明 小坪タカシ 中村富夫 横溝文男 秋吉 実 柳瀬マキ 柳瀬スエリー 吉浦ミヨコ 吉浦タリコ 堀江クニオ 梶原四男巳 柳原正広 内田チヨエ篠原 柳瀬ヒサ 上村秋代
アラサツバ (銀行振込) (Arasatuba)	14名	田代敏行 白石一資 臼井 猛 白石利見 宮本政彦 原 徹 原 弘巳 長松正一 岩田 誠 橋本滝蔵 山下政雄 山下 豊 山下藤勝 白石ミトミ
アサイ (銀行振込) (Asai)	12名	内山田庄次郎 大場秀男 久保 光 久村勝志郎 禅院幸栄 勝田ジュウリオ 永露
オザスコ (銀行振込) (Osasco)	22名	大滝多喜夫 香月茂幸 今村シゲヨシ 草場パウロ 井ノ口次郎 高ネルソン 高カルロス 草場マリオ 東亨二 宮崎守行 鳥越ツヨミ 高木正則 高倉シゲオ 鐘ヶ江 誠 岩下ツネト 馬場 修 笠シズコ 古川ミサコ 土田孝治 モラシマ エヂソン 平田ニコラウ 大石タクシ
5月1日 以降支払い	人 数	会 員 名 (敬称略)
ピラールドスール (pilar do Sul)	4名	入山 敏 南 満 城島将男 関エミコ
グワルリョス (Guarulhos)	32名	石松 剛 中尾義信 田尻フミオ 石井イサオ 鴨崎シズコ 横溝ミツト 松岡 眞 菊竹正行 田中 公 藤井ミチギ 後藤パウロ 川崎武彦 林 繁雄 山本ケサコ 沢崎建一 草場シメコ 福島ミヤコ 二見チサコ 広川定吉 由井俊博 青木早雄 井手 司 久次アマデウス 吉武久登 川上松男 上野トメコ 木村秋三郎 後藤常好 川井祐介 青木トシエ 生野省五郎 大石辰澄
スザノ (Suzano) (追加)	5	行徳由紀子 立石松男 西村マサエ 佐藤ヒロシ 大迫三男

マリリア (Marilia)	12名	滝内 一、江藤英田、田中欣也、綾部 武、延壽恒男、池田 守、上村義人、平田次郎、石井信男、石井アントニオ、鬼木竜男、矢野アウグスト、
シダーデ アデマル (Cidade Ademar) (銀行振込)	4名	池田カツヨシ、山尾望、池田 武、渡 礎、
バルゼン イビウナ (Vargem Ibiuna)	17名	小西香月、島 春雄、細江厚子、佐伯圭彦、上村優博、上村敏彦、益岡八重子、石崎千城、小峰八重美、宮崎光雄、出利場 実、香山栄一、川添エミコ、吉住優、馬場哲男、伊藤コウイチ、谷口 丞、
モジ ダス クルーゼス (Mogi das Cruzes)	28名	井上鈴子、行徳志穂子、秋吉 功、中山ついで、早川守夫、小川隆造、柳 清光、林田袈裟子、橋本マノエル、田尻トモシサ、国友義一、小川 亨、吉村 隆、吉村 活、大力隆文、森下サトル、森 政雄、山口昭一、平田ショージ、荒川宏海、古賀サトル、平田幸男、小林保信、檀 定則、平田セバスチオン、建部行孝、鶴我博文、野村恵美子、
サント アンドレー (Santo Andre)	53名	古賀正倫、高島末利、高 数吉、江藤征支、伊藤貞造、上田幸司、福島 孝、中野辰男、内山清志、西木戸清治、中野清美、重松勝美、中野又男、中野ヒロトキ、児玉繁男、池部アヤ子、北浦愛子、宮崎サダユキ、重森百合子、立石守澄、内山トミオ、内山フジカ、内山ツカネ、内山チヨカ、 内山ヒロシ、内山チエコ サントス、栗の脇アヤ子、竹下竹文、永島 剛、上村賢二、上村 晃、大場セイコ、大場マサカツ、大場シゲキチ、福島 清、行徳アウグスト、行徳 覚、倉富建造、藤本テル子、長野オルランド、藤井義之、鹿毛 忠、福成信勝、岩下ミチ子、平田シゲアキ、宮本エルザ、ゴエス 重森エリカ百合子、池田ヨシヒロ、小田タケシ、古賀タツヒロ、重松ヒトシ、古賀 ユリコ、竹内 パウロ イソオ、
サン ミゲールパウリスタ (Sao M, Paulista) (銀行振込)	21名	矢野巖ペードロ、笠 喜代治、栗本英雄、松本繁毅、荒田田鶴子、今村 港、瓜生和子、建本上村よしえ、丸林久子、飯田タミ、桑野正生、青木幸雄、浅倉 実、満生勇生、伊藤義臣、笠かつじオルランド、古賀光男、平田美智子、松本克男、一二三ルイザ、矢野鉄男、
本部 (Se)	1名	佐藤次郎、
アクリマソン(Aclimacao)	1名	清水晴司、
レジストロ (Registro)	1名	高橋晴海、

編集後記

去る2月に発足新理事会に伴って、今年度第一号の会報の発行が大幅に遅れまして申し訳ありません。この発行を今後定期的に行う為に今年はとりあえず年三回(1月～4月、5月～8月、9月～12月)発行する予定です。

又新しい試みとして“支部便り”“文芸”“留学生便り”等の欄を設けて内容の豊かなものに作り上げていきたいと考えておりますので、皆様方のご協力を御願いたします。



上 パウルー支部親睦会に本部より会長、副会長、会計理事出席する。
中 パウルー支部 親睦会風景。
下 二〇〇四年二月 福岡市に於いて、移住家族会の皆さんと県費留学生の皆さん。

